

双葉東小学校学校関係者評価書(前期)

平成21年 8月 3日(月)

双葉東小学校学校関係者評価委員会作成

第1回学校関係者評価委員会

実施日 平成21年 7月23日(木)午後7時30分～

会場 双葉東小学校会議室

参加者 (学校関係者評価委員)

学校評議員 乙黒 健・長谷部 集・中村めぐみ・古澤みどり
石塚邦夫・大澤健次郎

PTA代表 志村浩二(欠席)・石川茂美

(学校側)

校長 中 千博

教 頭 甲田ふみ子

教務主任 白倉三正

I 学校側から提案された内容

- ・自己評価(教職員)結果及び改善策について
- ・児童アンケート結果及び改善策について
- ・その他

II 協議された主な内容

- ・自己評価書の内容, 回答について
- ・児童アンケート結果の中での課題
- ・学校のあるべき姿について

<学校関係者評価書>

I 全体評価

双葉東小学校の総合評価は、総じて良好の水準にあるといえる。

全ての項目が肯定的方向で安定している。また、日々の教育実践に対する評価は、比較的高い水準を維持している。ただし、個々の項目の中から見えてくる課題に対して、教職員集団が一つになって取り組んでほしい。

II 特 徴

- ・国や県の指定を受けて、道徳実践及び授業内容の充実に力を入れている。
- ・あいさつ運動への取り組みは、地域、家庭を巻き込んで広まりを見せてきている。
- ・児童数が増えるに従って人間関係が希薄になってきている。問題も発生しやすくなっている。
- ・校長を筆頭に全ての教職員が子どもと向き合う努力をしている。
- ・朝読書への取り組みは、子どもたちの学習への姿勢や生活態度により影響を与えている。
- ・校庭芝生化(平成21年7月完成)にともない児童の外遊びが増えてきている。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

- ・児童アンケートの設問内容が、子どもによりわかるように項目内容の見直しや検討をしてほしい。また、児童アンケート、教職員自己評価とも全体の傾向を把握するには適しているが、より深い部分については、オリジナル項目の一層の充実がのぞまれる。
- ・教職員と保護者、地域の方々、子どもたちで「心の交流会」を開いたらどうか。形式にとらわれず、ざっくばらんな話し合いをすることでお互いを理解しあえると思う。
- ・保護者やボランティアによる通学路上の指導が効果をあげている。愛のパトロールや帰り道ふれあい事業など継続してほしい。
- ・防犯のため、防災無線を利用して子どもの下校を地域の方々に知らせたらどうか。
- ・子どもたちの健やかな成長のために、家庭教育の充実と学校との連携をのぞみたい。
- ・子どもの成長発達段階で、訊きたいことを尋ねられない子や性格上他人にうまく話を伝えられない子がいる。学校教育の中で少しでも自分を表現できるよう支援してほしい。

※ 特記事項

- ・高学年・低学年にかかわらず学校評価の数値結果が意味するものは何であるのか、常に意識したい。そのために学校関係者評価委員会の役割は大切である。評価委員として保護者として学校や地域のために役立ちたいと思う。

記載責任者双葉東小学校 学校関係者評価委員

氏名： 石川 茂美 印